

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	ふれあい館・桜本こども文化センター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人青丘社 ・代表者名 理事長 斐 重度 ・住所 川崎市川崎区桜本1-8-22	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	1 ふれあい館・桜本こども文化センター ①年間延べ利用者数 56,011人 ②年間延べ利用団体数 788団体 2 さくら小学校わくわくプラザ ①登録者数 215人 ②年間延べ利用者数 11,126人 3 大島小学校わくわくプラザ ①登録者数 233人 ②年間延べ利用者数 16,762人 4 東大島小学校わくわくプラザ ①登録者数 177人 ②年間延べ利用者数 14,571人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 140,145,918 2 支出 人件費 117,131,906 管理費 12,625,204 事務経費 5,435,720 その他経費 852,667 合計 136,045,497 3 差引 4,100,421
サービス向上の取組	こども文化センター・わくわくプラザの管理運営だけでなく施設の特徴である、ふれあい館事業・高齢者交流事業・高齢者相談事業を継続して実施した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
	事業成果	こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか	5	3	3
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由)設立当初から運営に携わっている団体として、他の団体ではできない施設目的をよく理解した運営を行っており、また、障害児タイムケアモデル事業等の委託も受けており、館を中心とした連携を図り、事業に取り組んでいた。韓国朝鮮やフィリピンといった国々の文化に関するクラブ活動、多文化共生に係る講座、近隣中学校や教育委員会と連携を図った学習サポートや、生活史の語り部として高齢者の社会参加の推進など、他の団体ではできない施設目的に合った運営を行っていた。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由)金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	5	10
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
(評価の理由)多数の視察者に対し、視察の機会に施設の情報積極的に発信し、また、ホームページやブログによる活動紹介など広報拡大に努めた。年80回を越える地域や行政の様々な委員会や協議会等に参加し、情報交換、情報発信等を行い事業の充実のために地域との連携を強化していた。さらに、メールでの意見の受付、写真・ビデオ上映等による情報・話題提供を図りニーズの把握に努めていた。					

組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	3	3
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由)多言語が話せる職員を窓口配置することにより、利用者とのコミュニケーションの向上を図っていた。また、夜間には世代の若い職員を配置することにより中学生・高校生の現状把握に努めていた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のための体制(マニュアル整備等)がとられているか	5	4	4
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		・施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害時の対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか					
(評価の理由)施設整備安全点検委員会を設置し、2か月に一度施設の安全点検を実施した。3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き、指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、施設の特色を良く理解し管理運営に当たっていた。また、今年度も国際色のある行事を実施していたことや、高齢者との交流や相談の業務を積極的に実施し、事業の充実にも努めていた。行事についても、ふれあい館とこども文化センターと連携してお互いの特色を生かした、世代間交流や地域の方々との交流を進めていた。

今年度は特に3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、ふれあい館・こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。